

りそな・小型株ファンド

追加型投信／国内／株式

第 16 期

(決算日 2020年9月10日)

作成対象期間 (2019年9月11日～2020年9月10日)

第 16 期末 (2020年9月10日)	
基準価額	13,446円
純資産総額	1,386百万円
第 16 期	
騰落率	15.4%
分配金 (税込み)	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、アムンディ・日本小型株マザーファンドの受益証券への投資を通して、国内の小型株に分散投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

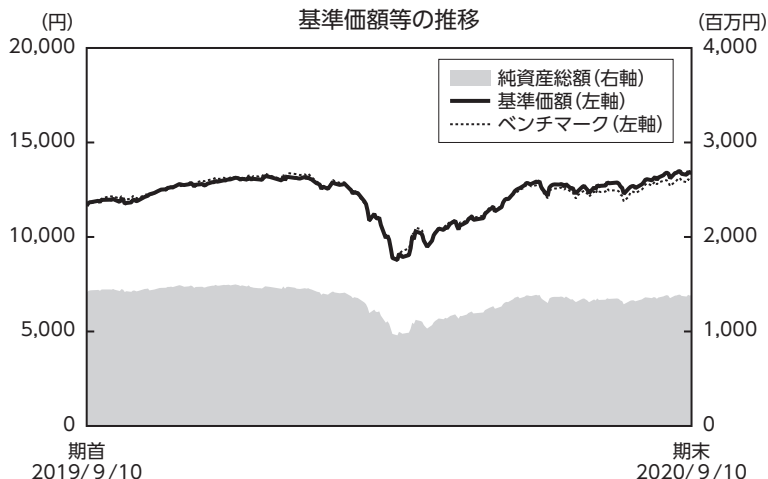
<お問い合わせ先>

お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第16期首	11,648円
第16期末	13,446円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	15.4%



- (注1) ベンチマーク（ファンド運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指数）は、Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス（配当込み）です。
- (注2) ベンチマークは、2019年9月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 当期初である2019年9月から年末にかけて、米中貿易協議進展への期待や企業業績の改善観測が強まったこと
- ② 2020年4月から6月にかけて、コロナ禍を受けて主要各国・地域で強力な財政・金融政策が採られ、経済活動再開による景気回復期待が高まったこと

下落要因

- ① 2020年2月から3月にかけて新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、景気の先行き不安が急速に強まったこと
- ② 2020年7月初旬から下旬にかけて、国内での新型コロナウイルス感染再拡大や米中対立の激化が懸念されたこと

1 万口当たりの費用明細

項 目	第 16 期 (2019年9月11日 ～2020年9月10日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	228円 (107) (107) (13)	1.870% (0.880) (0.880) (0.110)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	5 (5)	0.039 (0.039)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 (監査費用) (印刷費用) (その他)	7 (1) (6) (0)	0.059 (0.010) (0.048) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	240	1.968	

期中の平均基準価額は12,182円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

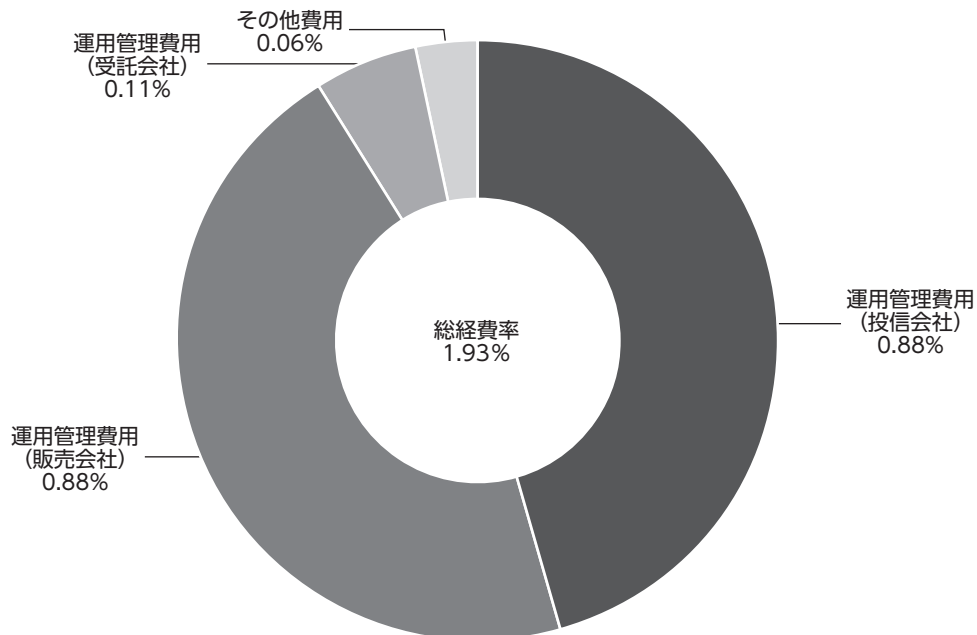
(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

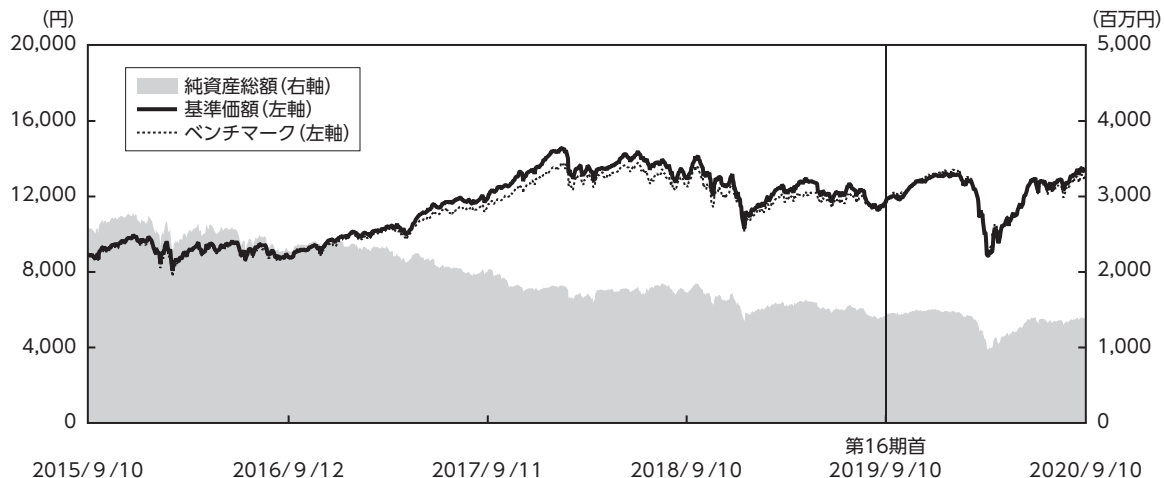
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年9月10日～2020年9月10日)



(注1) ベンチマーク（ファンド運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指数）は、Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス（配当込み）です。

(注2) ベンチマークは、2015年9月10日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/9/10 期首	2016/9/12 決算日	2017/9/11 決算日	2018/9/10 決算日	2019/9/10 決算日	2020/9/10 決算日
基準価額 (円)	8,761	8,720	11,873	12,977	11,648	13,446
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-0.5	36.2	9.3	-10.2	15.4
ベンチマーク騰落率 (%)	—	-0.9	31.5	9.8	-7.0	12.1
純資産総額 (百万円)	2,543	2,261	1,998	1,722	1,411	1,386

(注1) ベンチマーク（ファンド運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指数）は、Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス（配当込み）です。

(注2) Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス（配当込み）は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社およびRussell Investmentsに帰属します。なお、野村証券株式会社およびRussell Investmentsは、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

投資環境

<国内株式市場>

当期初は、米中通商協議再開の報道、欧米での金融緩和や円高に歯止めがかかったことなどが好感され、国内株式市場は上昇しました。市場は年明けにかけて上昇を続け、2020年1月には日経平均株価は一時24,000円台を回復しました。しかし、2月に入ると新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気後退への懸念が急速に強まり、3月に日経平均株価は16,000円台半ばまで急落しました。その後は主要各国・地域で強力な財政・金融政策が講じられるなか、世界的な経済活動再開が好感され、市場は急反発しました。当期末にかけても堅調に推移し、日経平均株価は23,000円台まで回復しました。

当期を通じて小型株の上昇率は大型株に劣後しました。相場的大幅調整局面で、業績安心感の高い大型株に資金が流れたことが影響しました。また、小型株市場では大型株と同じく業績面での安心感が評価されたグロース株が物色される動きがみられました。業種別では、収益安定性に加え、withコロナ社会で事業機会の拡大が見込まれるネット関連株などを中心に情報・通信業の上昇率が大きくなりました。一方、自動車生産の落ち込みが響いた輸送用機器や機械の銘柄に弱含むものが目立ちました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

アムンディ・日本小型株マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内の小型株に分散投資を行うことにより、積極的に収益の獲得を目指しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<アムンディ・日本小型株マザーファンド>

株式市場が通期でプラスのリターンとなったことで、当ファンドの基準価額も上昇しました。また、対ベンチマークでプラスの超過リターンを獲得しました。

個別銘柄では、コロナ禍で遠隔医療の普及加速による成長期待が高まったメドレー（オンライン医療プラットフォーム展開）、JMDC（画像診断サービス提供）、非対面営業への安心感やテレビCM効果等で新規契約数が増加したライフネット生命保険（ネット専業保険）、巣ごもり需要を取り込み業績拡大が見込まれたメディアドゥ（電子書籍取次）等への投資がリターンを押し上げました。

投資行動としましては、従来の投資方針を堅持しつつ、割高感の修正から小型株への売り圧力が強まるなか、投資家が保有する可能性が比較的低い銘柄や新規上場銘柄への入替えにも注力しました。特に、新規上場銘柄への投資はリターンの押し上げに寄与しました。具体的には、上記メドレーやJMDCに加え、AIエンジンを活用し、不動産業界の業務非効率性改善需要を取り込み成長が期待されるSREホールディングスなどを組み入れました。

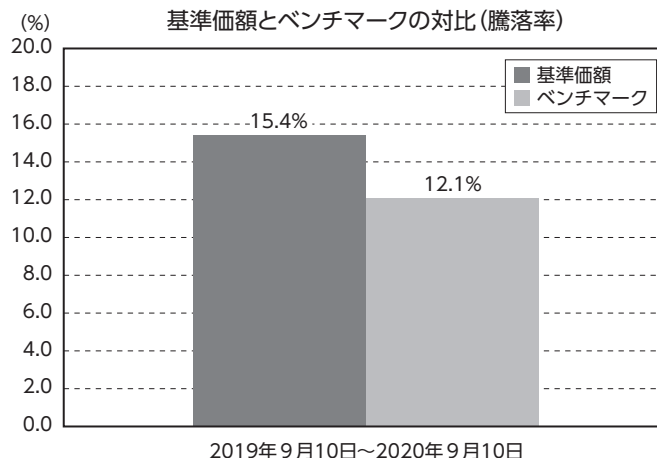
(りそなアセットマネジメント株式会社)

ベンチマークとの差異

当期の基準価額は+15.4%となり、ベンチマーク（Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス）の騰落率（+12.1%）を上回る結果となりました。

プラス要因：withコロナ社会を見据え、成長期待が一段と高まった関連銘柄を多く保有していたこと。遠隔医療（メドレー、JMDC）や巣ごもり需要（メディアドゥ）、テレワーク（ダイワボウホールディングス）など。

マイナス要因：コロナ禍で足元事業環境の厳しさが強まった関連銘柄を保有していたこと。世界的な自動車生産の落ち込み（日総工産、ツバキ・ナカシマ）、訪日観光客激減や大型イベントの中止（ヒト・コミュニケーションズ）など。



(注) ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指数）は、Russell/Nomura Small Cap Growth インデックス（配当込み）です。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第16期
	(2019年9月11日～2020年9月10日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,031

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、アムンディ・日本小型株マザーファンドへの投資を通して、実質的に国内の小型株に分散投資を行うことにより、積極的に収益の獲得を目指します。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<アムンディ・日本小型株マザーファンド>

短期的な相場動向に左右されず、多様な投資アイデアをもとに、社会構造の変化に伴う需要拡大を背景に持続的な成長が見込まれる小型株への投資を継続します。

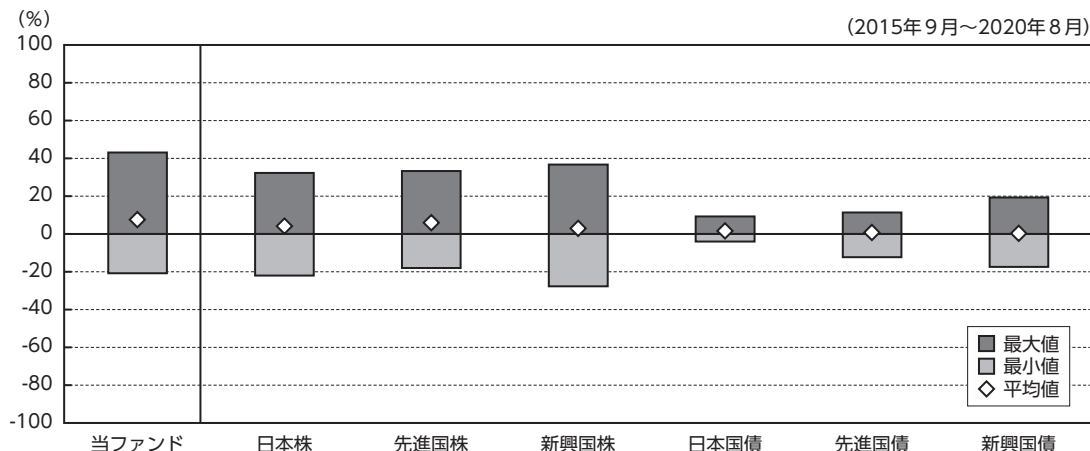
今回のコロナ禍による一連の混乱で人々の意識や行動様式の変化が予想されます。例えば、遠隔医療やリモート教育等は、今までも技術的には普及可能であったにもかかわらず、現状維持バイアスにより導入が遅れていました。しかし、コロナ禍を機にこれらに関する規制が緩和され、一気に普及する可能性が高まっています。また、テレワークが常態化し働き方が多様化するなかで、個人の価値観が判断基準となり、働く場所や生活する場所、働き方を選択できる世の中が到来し、組織から個人、都市集中から地方分散、労働時間から活動成果へと考え方が変わっていくものと思われまます。このようにコロナ禍を機に社会構造の変化が加速する環境下で、新たな需要を取り込んで持続的成長が見込まれる企業の発掘に努めてまいります。

(りそなアセットマネジメント株式会社)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	2004年9月1日から無期限です。	
運用方針	<p>アムンディ・日本小型株マザーファンドの受益証券への投資を通して、国内の小型株に分散投資を行うことにより、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標として運用を行います。</p> <p>Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。</p>	
主要投資対象	りそな・小型株ファンド	アムンディ・日本小型株マザーファンドの受益証券
	アムンディ・日本小型株マザーファンド	東証一部および東証二部、地方取引所等、店頭市場への上場・登録銘柄
運用方法	<p>①アムンディ・日本小型株マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、国内の小型株に分散投資を行うことにより、積極的に収益の獲得を目指します。</p> <p>②小型株市場の中から、徹底したファンダメンタル・リサーチ（企業分析）により成長企業を発掘し、バリュエーション分析（割高・割安分析）で銘柄の割安度を総合判断して投資することで、中長期的なキャピタルゲイン（値上がり益）の獲得を目指します。</p> <p>③Russell/Nomura Small Cap Growth インデックスをベンチマークとし、中長期において、ベンチマークを上回ることを目標とします。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（年1回、原則毎年9月10日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として次の通り収益分配を行う方針です。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。</p>	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	7.5	4.2	5.9	2.8	1.6	0.7	0.3
最大値	43.1	32.2	33.3	36.7	9.3	11.4	19.3
最小値	-20.8	-22.0	-18.0	-27.7	-4.0	-12.3	-17.4

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2015年9月から2020年8月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

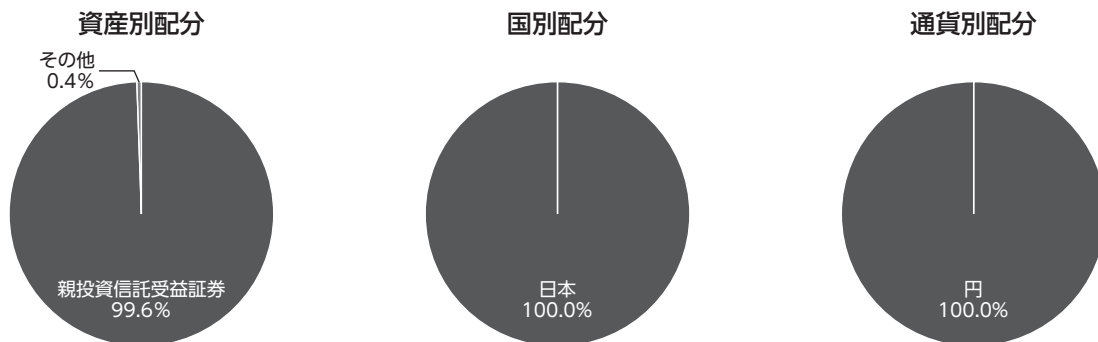
2020年9月10日現在
(組入銘柄数：1銘柄)

銘柄	比率
アムンディ・日本小型株マザーファンド	99.6%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第16期末 2020年9月10日
純資産総額	1,386,089,110円
受益権総口数	1,030,874,950口
1万口当たり基準価額	13,446円

※当期間(第16期)中における追加設定元本額は23,128,482円、同解約元本額は203,909,270円です。

組入ファンドの概要

<アムンディ・日本小型株マザーファンド>

第16期 決算日：2020年9月10日

(計算期間：2019年9月11日～2020年9月10日)

基準価額の推移



組入上位10銘柄

2020年9月10日現在
(組入銘柄数：79銘柄)

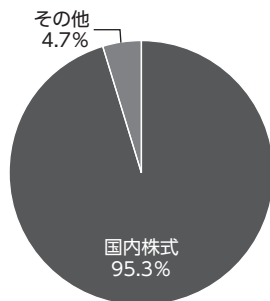
	銘柄	業種	比率
1	KHネオケム	化学	2.4%
2	GMOインターネット	情報・通信業	2.2%
3	ナカニシ	精密機器	2.0%
4	山一電機	電気機器	2.0%
5	タクマ	機械	2.0%
6	ダイワボウホールディングス	卸売業	1.9%
7	日本水産	水産・農林業	1.8%
8	富士通ゼネラル	電気機器	1.8%
9	全国保証	その他金融業	1.8%
10	あいホールディングス	卸売業	1.7%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

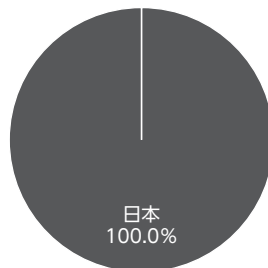
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

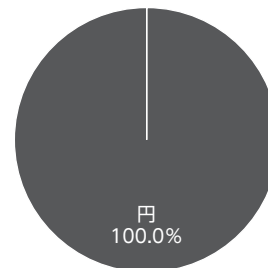
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項目	第16期 (2019年9月11日 ～2020年9月10日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	7円 (7)	0.039% (0.039)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	7	0.039	

期中の平均基準価額は18,598円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント